

青梅市 NPO・市民活動団体 アンケート調査



調査対象：東京都認証 NPO 法人、青梅ボランティア・市民活動センター登録団体
文化団体連盟加盟団体、体育協会加盟団体

調査期間：平成 23 年 3 月

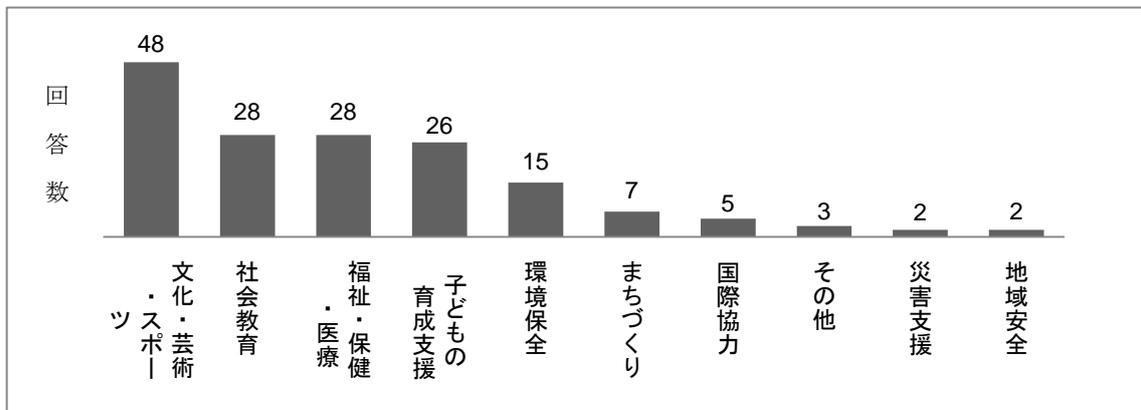
調査団体数：143

回答数：95

回答率：66.4%

1. 団体の概要

■取り組んでいる活動分野について（複数回答可）



※その他…小中職員の指導、動物愛護、ネットワークづくり

■法人格の取得状況

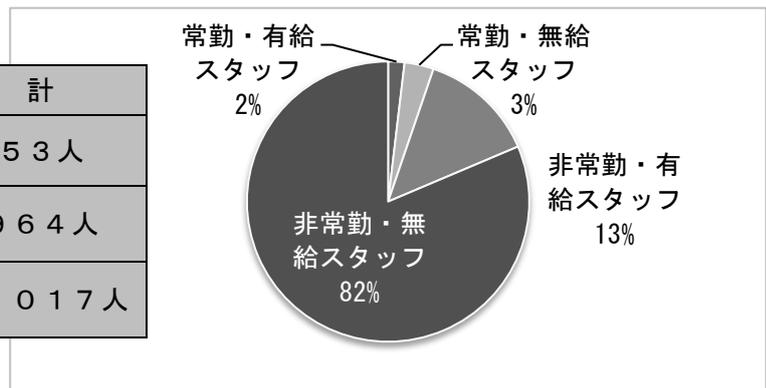
- ・任意団体（NPO法人以外の団体）…73団体
- ・NPO法人の所管…20団体（東京都認証）
- ・その他の法人格…2団体（社団法人）

■スタッフ種別（常勤・非常勤スタッフ、有給・無給別）

※常勤スタッフ…週30時間程度以上働いている人、有給…報酬や賃金を受けている場合

グラフのとおり、ほとんどが非常勤・無給スタッフである。また、有給スタッフの割合は15.2%、無給スタッフの割合は84.7%とボランティアで活動しているスタッフが多数である。

	有給	無給	計
常勤スタッフ	19人	34人	53人
非常勤スタッフ	136人	828人	964人
計	155人	862人	1,017人

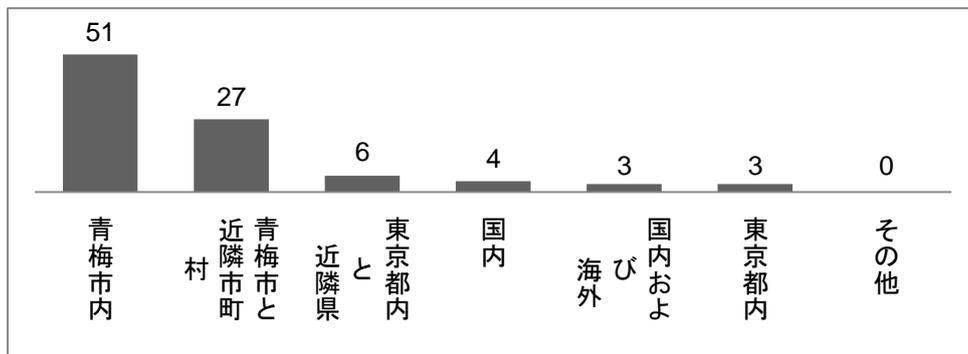


2. 団体の活動

主に市内を中心に活動しており、公共施設で教室や講座を開催している団体が多い。

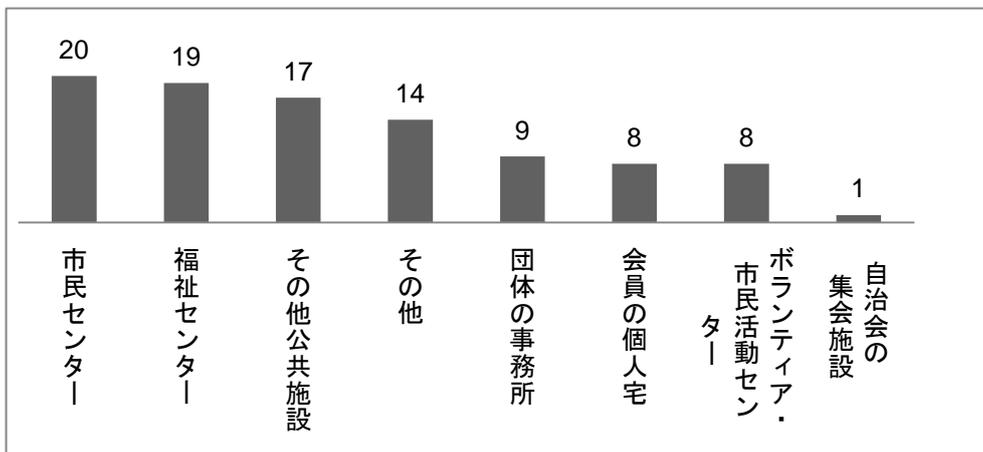
■活動地域について

主に市内と近隣市町村で活動している団体が大部分である。



■最も使用している活動拠点について

市内の公共施設を使用している団体が全体の58%と多数である。



- ・その他公共施設…総合体育館、体育施設、市民会館、社会教育施設
- ・その他…多摩川、特別支援学校、希望の家、サポートセンター、会員の会社、老人施設、自立センター、日向和田、吉野山園地、他団体の施設、青梅の森など

■団体の過去3年間の主な活動

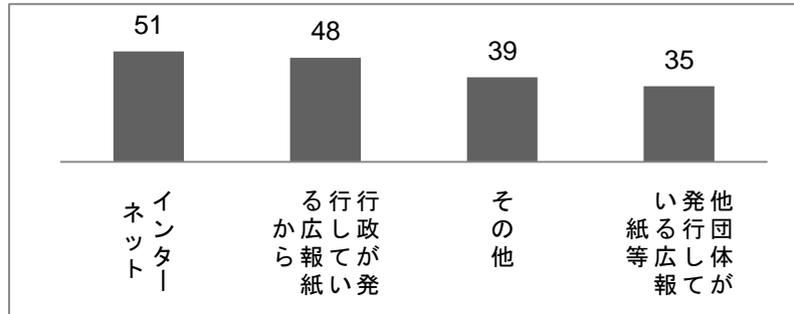
- ・事業内容
 (回答の多かった事業) 教室、大会、講習会、研修会、啓発講座、自然体験
 (その他事業) 慰問、清掃活動、ボランティア育成、相談事業など
- ・実施年回数
 1～103回。多いところでは3,000回(運行サービス)
- ・参加者数
 40人～850人。多いところでは10万人(直売市と食に関するイベント)

3. 情報の発信・収集について

情報の発信や収集については、インターネットや紙媒体などそれぞれ利用されているが、会員の募集については口コミが最も有効である。

■情報収集をどのような手段で行っているか（複数回答可）

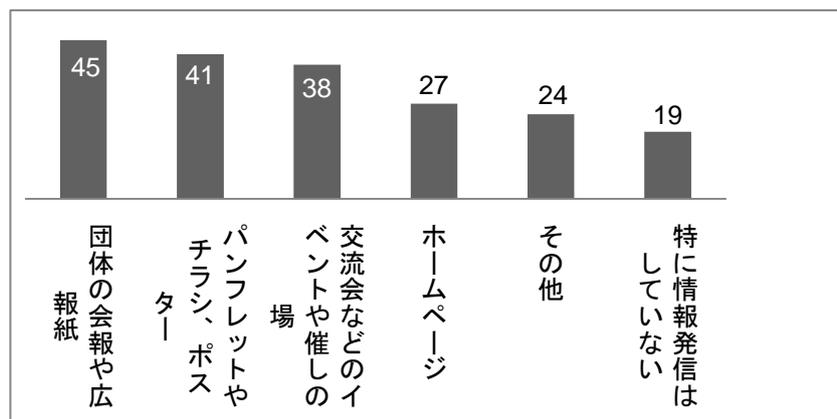
回答に偏りはなく、どの媒体からも情報を収集している。また、その他の回答で人伝いでの情報も多かった。



その他…他団体との連絡会、マスコミ、地域の人、情報収集していない

■情報発信をどのような手段で行っているか（複数回答可）

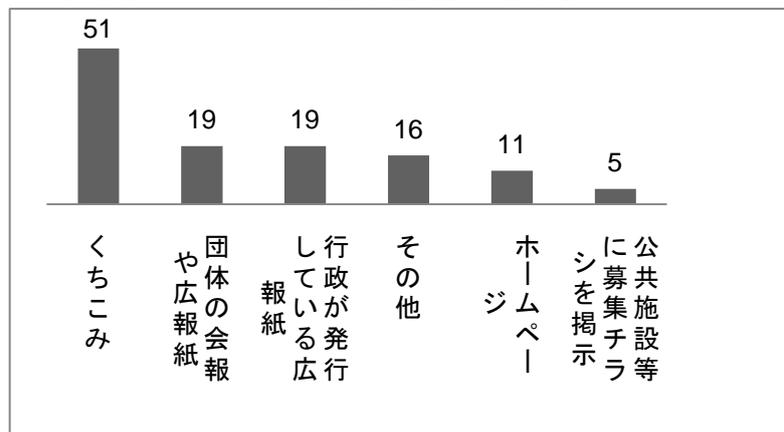
大部分が会報誌やチラシ等を作成し、それをイベント開催時に配布し、情報を発信している。



その他…市の広報、マスコミ、くちこみ、上部機関の情報誌、ボラセンのHP、関係施設や市民センター

■最も効果的な会員の募集方法について

広報紙等の紙媒体よりも、くちこみが最も有効である。



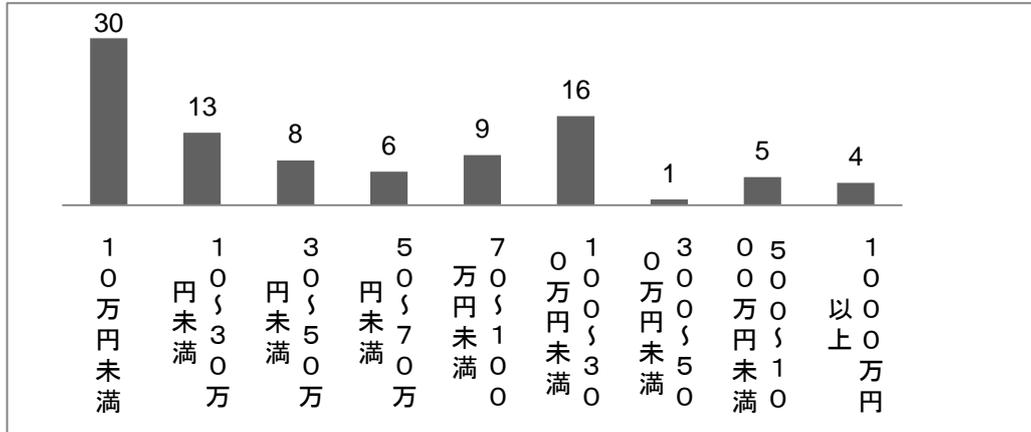
その他…事業開催時の勧誘、必要に応じて依頼、関係施設や会員からの紹介、特に行っていない

4. 財政状況について

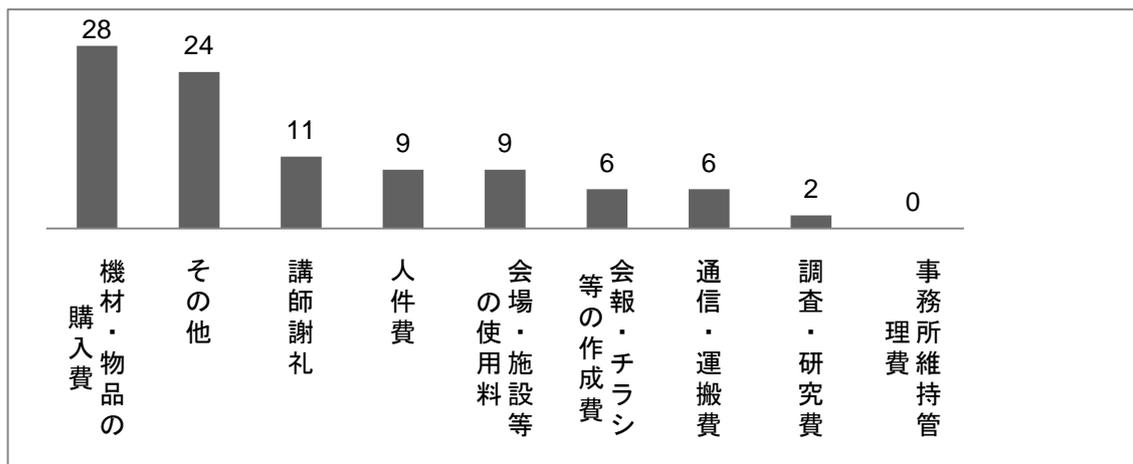
全体的に予算規模はあまり大きくなく、事業の費用を会費でまかなっている団体も多いようである。

■昨年度の支出規模について

予算規模10万円以下の団体が約3割と、ほとんど予算を持たずに活動している団体が意外と多い。

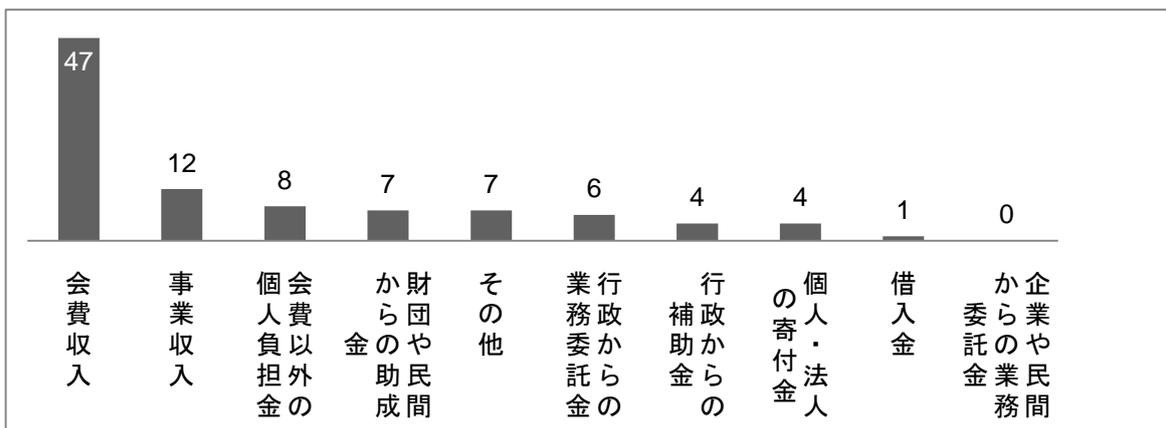


■支出の内訳について、全体に占める割合が最も大きいものの
機材物品の購入費とその他（中でも事業費支出）が多い。



その他…事業費、活動費、大会開催経費、試合派遣費、賞品、保険料、研修費、交通費、寄付

■収入の内訳について、全体に占める割合が最も大きいもの
大部分の団体で会費収入が最も多い。

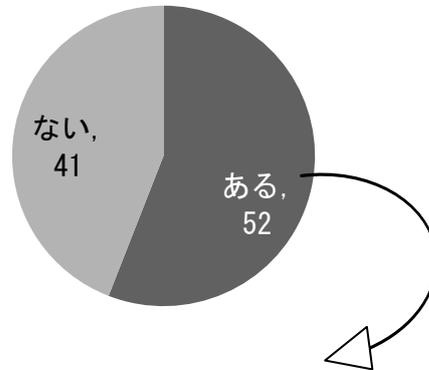


その他…資源回収、募金、収入なし

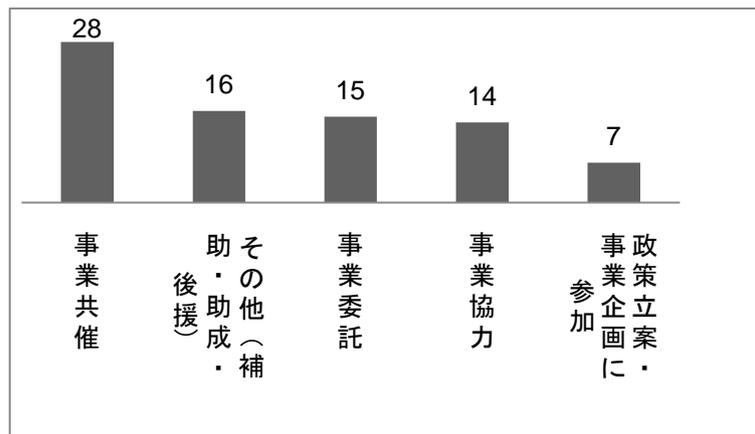
5. 行政との協働・連携について

協働を実施したことがある、または今後実施したいと回答した団体は78団体で、回答した95団体の8割以上にあたり、市との協働に意欲的であることが分かる。

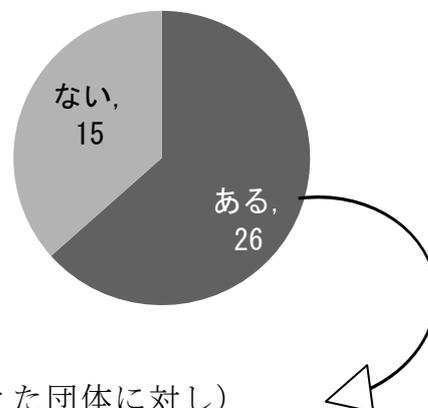
■ これまでに青梅市との協働で事業を実施したことがあるか。
事業を実施したことがあると答えた団体の方がやや多く、52団体であった。



■ これまでに実施した協働事業の形態について（複数回答可）
「政策立案・事業企画に参加」はやや少なく、その他様々な形態の協働事業が行われている。



■ （これまで協働事業を行ったことがない団体に対し）
・ 今後青梅市と協働をする希望の有無について

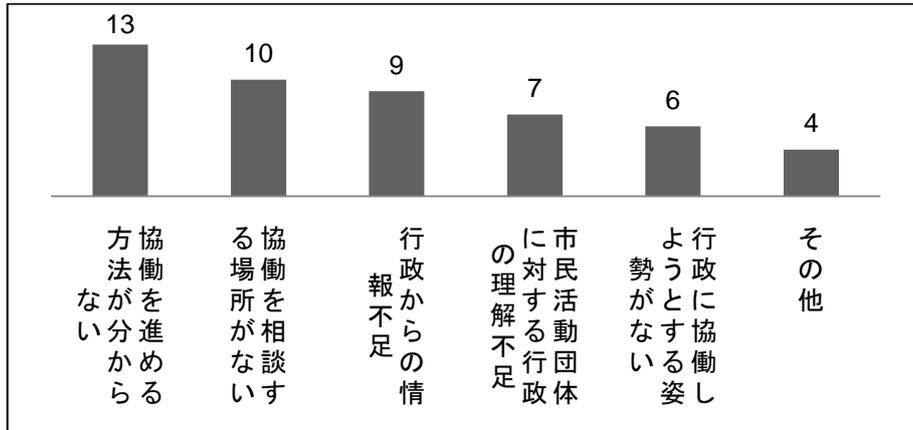


■ （今後協働の希望があると答えた団体に対し）
これまで青梅市と協働をするにあたり妨げとなっている原因について（複数回答可）

[次ページへ](#)

■ (今後協働の希望があると答えた団体に対し)

これまで青梅市と協働をするにあたり妨げとなっている原因について (複数回答可)
 協働に関する基本的な情報が不足しており、また、市の窓口で相談に対応できていない
 ようである。



その他…活動が医療の専門分野なので市との協働は難しい、市で相談しても係長レベルで断られる、団体の人数が不足している

■ (今後協働の希望がないと答えた団体に対し)

青梅市との協働を希望しない理由について (自由記入)

- ・ 活動が協働に馴染まない
- ・ 活動が趣味の会である
- ・ 少人数の活動である
- ・ 現在の活動を継続したいため
- ・ 他に適当な団体があるため
- ・ 協働の場がないため

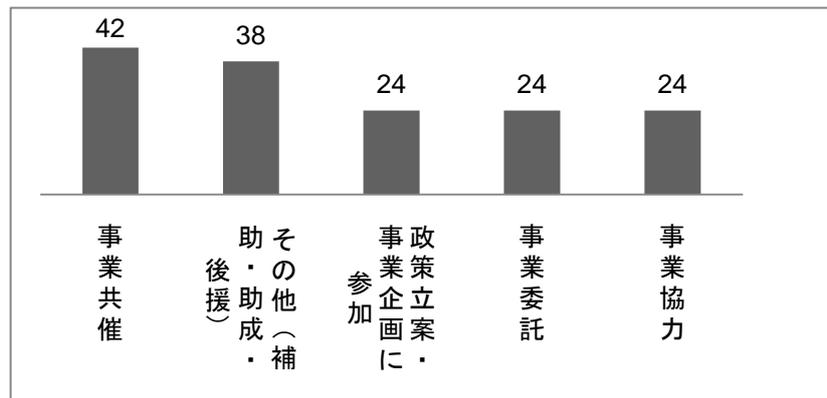
■ 今後の青梅市との協働について

青梅市と協働事業を行う場合、どのような事業を実施したいか (自由記入)

- 防災**
 防災対策キャンペーン
- 環境**
 省エネ対策、環境保護活動、植樹・清掃、多摩川流域の森・里・海をつなぎ地域と産業と住民の諸活動をネットワークする事業、河川を利用したアウトドア教室
- 福祉**
 福祉施設でのシニア劇団の公演、障がい児の学童保育の拡充、心身障がい者の表現文化国際交流、高齢者に対する音訳、老人介護事業
- 子ども**
 こどもを対象に日本文化に親しむ事業、不登校の子供と親が集い相談できる場所づくり、小中学校でクラス毎におはなし会、キッズパークの拡充
- スポーツ**
 夜間体育館で交流練習会、ジュニア育成、活動を通し精神性の育成、高齢者が交流できるスポーツ事業、一般市民参加のスポーツ大会
- その他**
 古文書の保存・調査・修復・広報、イベントの手伝い (着ぐるみ、音楽、料理)、病院・学校・行政機関の他言語化、パソコン教室、美術の生涯学習事業で実技研修

■青梅市と協働事業を行う場合、どのような事業形態が望ましいと思うか。（複数回答可）

ともに主催者として行う事業共催かその他（財政的支援）が望ましいという回答が多い。



■その他に青梅市との協働について、青梅市に期待すること、協働の課題等について（自由記入）

窓口

- ・意見を聞く窓口を示してほしい
- ・協働担当者の明示
- ・活動に対する助成と助言

市と団体の連携

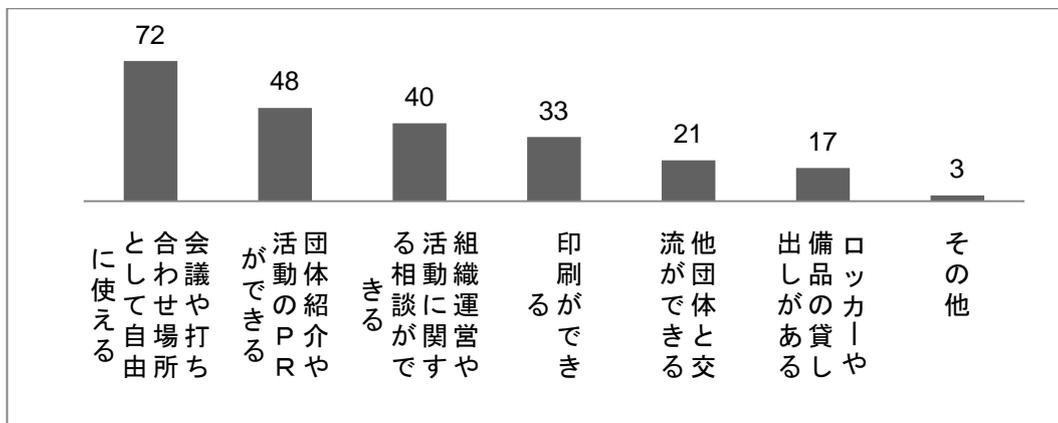
- ・少ない財政に頼らず人材を活用してほしい
- ・市と団体が話し合える場があれば協働もできるかも
- ・NPO連合会の立ち上げ
- ・NPO、行政だけでなく専門の研究機関とも協力
- ・相互理解のため研修を一緒に行う
- ・市の職員の意識改革（管理者のような立場で交わらない）
- ・興味、理解が少ない職員が担当すると事業が後退してしまう
- ・もっと若い人が参加したくなる役員会や実行委員会作りが必要

市の対応

- ・文書での提案と回答
- ・タテ割りではなく柔軟な対応
- ・このままの姿勢で努力していただきたい
- ・合意事項がずれないように文書で表す必要がある
- ・支出についての明確な基準
- ・市民の提案より行政からの提案の方が行いやすいので、行政の積極的提案が必要
- ・行政のスピーディーな動き

6. 青梅ボランティア・市民活動センターについて

■青梅ボランティア・市民活動センターの最も必要とする機能について（複数回答可）
打合せで気軽に使える場所として需要がある。また、団体の紹介や相談業務についても活用されている。



その他…活動施設の無料借用、他団体とのコーディネート、点字プリンター

■その他に充実してほしい機能について（自由記入）
設備の充実の他に、現在ボランティアセンターで実施している事業の拡充が求められている。

備品・設備

- ・ 団体備品をおくためのロッカー（ロッカーが手狭）
- ・ 鍵のかかる戸棚
- ・ 無線 LAN
- ・ 広い多目的スペース

業務・企画

- ・ 他団体の活動紹介
- ・ 活動のための情報提供
- ・ 団体の交流会を最低2回、出来れば4回企画してほしい
- ・ 活動の悩みや意見を打ち明けられる専門スタッフ
- ・ 体力を使うボランティアの募集（障がい者児の介護）

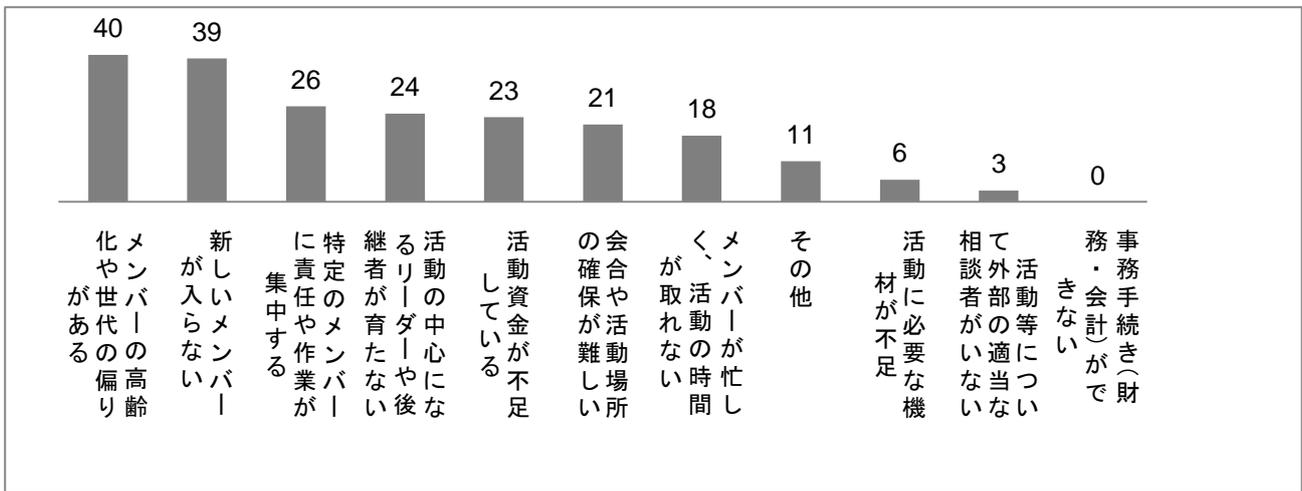
その他

- ・ いつも感謝しています

7. 活動上の課題と今後の方向性について

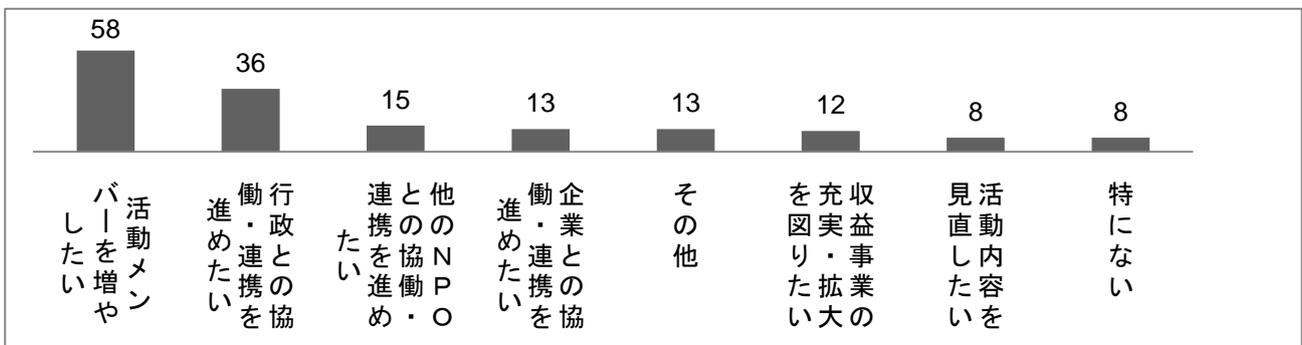
活動メンバーに関する課題が大部分である。現在の活動を維持、さらに充実させるための十分なスタッフが確保できないようである。今後については、スタッフの確保や行政、他団体との協働や連携を目指す団体が多い。

■現在の課題について（複数回答可）



その他…備品の保管・管理、有料化で財政圧迫、特になし、活動に見合った対価が払えない、依頼が少ない、団体を支援する団体が必要、うまく若手に引き継げない、継続して活動できる人がいない、パートさんの確保が難しい

■今後の方向性について（複数回答可）



その他…活動の充実・拡大、活動のPR、依頼に応える、現在の協働事業の継続、活動対象国（タイ）との協働

あなたが考える地域の課題・自由意見

日頃の活動に関して

- ・ 団体メンバーの高齢化、指導者不足、活動場所の確保等が役員の負担になっている
- ・ 高齢化が進んでいるので、高齢者と若い人を合わせた組織作りが必要
- ・ 障がい児が住みやすくなってきたが、まだ理解と地域の協力が必要。もっと市や地域と連携していきたい
- ・ 障がい児が学校から帰ったあと、仕事、親がいなくなった後、余暇のサポート等課題が多い
- ・ 若手の参加者を増やす
- ・ 国際文化交流をさらに活発に

行政に関して

- ・耐震診断を行っているが、行政からの門戸が開かれない
- ・委員会が市民に開かれていない
- ・広報等のSPコードでは不十分。さまざまな刊行物の音声訳が必要
- ・民間活力利用にもっと積極的になってほしい
- ・要約筆記の派遣が級の低い人でもしやすいうように、都の派遣も活用すべき
- ・5年10年後のプランニングに力をいれるべき
- ・無償で活動をおこなっている。広報活動の支援が重要
- ・市史編さん以後の文書の保存、散逸の調査を行ったほうがよい。その際は協働できる
- ・山、川、文化等の観光資源に恵まれているが山を除いて観光スポットが分散しているので中核となるスポットを面で展開（例）多摩川の両岸に遊歩道を拡充、青梅の庭開放（個人宅）など
- ・災害時の聴覚障害者の対応を各団体で話し合っている。行政も参加してほしい
- ・NPOフェスタに期待

施設・設備に関して

- ・交通手段や交通網の充実
- ・活動場所や駐車場の確保が難しい
- ・施設有料化で活動が制限される
- ・武道場が貧弱
- ・施設の使用について、指定強化選手、強化団体制度を用いてほしい
- ・老人ホームのように重度障がい者が入れる施設が必要

地域に関して

- ・こどもを地域で育てるとはいかない現状である。こどもをみんなで守る街・青梅を目指す
- ・地域が閉鎖的
- ・高齢化と少子化が進んでいる。災害時のお年寄り世帯には応援が必要
- ・閉鎖的な傾向がある。（血縁、地縁関係が強い）地域で認められるのに約10年かかった
- ・市民がお互いを支え合う力が出し合えていない。自治会にとられない地域の組織があってもよいのでは
- ・人をつなげる専門家がいる、子どもや大人が集える場所が必要
- ・同じ分野ごとの話し合いの他に、地域ごとの話し合いも必要では
- ・市内在住の人は自然環境に関心がない。会員のほとんどは都心在住
- ・市民活動をより多くの人に知ってもらいたい
- ・様々な人間関係で行き場を見失う人が多い。よりよい人間関係を作るヒントを見つけられる場が必要
- ・活動には地域の人々の協力が欠かせない。もっと認知してもらうためのパイプ役として自治会の活用もある
- ・高齢者が自立して活発に活動することが益々求められる。高齢者の趣味の活動にさらに注目してほしい

【以上です】